

事務事業名		児童館・児童センター運営事業			会計	一般会計					
H27担当課等名		学校教育課		H27係等名	保健給食係		H26係等名	保健給食係			
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり			事業種別	政策	開始	S45	終了
		施策	37	子どもを産み育てやすい環境の充実							
目的	対象(誰・何を)	放課後家庭に保護者のいない低学年児及びその保護者				対象指標	指標名及び単位			26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	放課後留守家庭の児童が、安心して過ごせる場所を確保する 保護者が安心して働けるようにする					放課後留守家庭の小学校低学年の登録申込児童数	260			
	向上させたい上位施策の成果指標	子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者の割合					放課後留守家庭の小学校高学年の登録申込児童数	42			
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	市の運営する児童クラブの利用低学年児童数/申込者数(%)				100	100	100	100		
	定性目標										
事業概要	1 児童館・児童センターは児童福祉法に基づく児童厚生施設であり、本来全児童が対象であるが、飯田市では放課後留守家庭の児童を対象とした児童クラブ事業を主眼に運営している										
26年度事業内容	事業内容				名称			活動指標			
	1 児童館(2ヵ所)、児童センター(5ヵ所)の運営を行う (1)放課後留守家庭の児童の受入 (2)児童厚生員の適正配置 (3)児童への対応や運営等に関する児童厚生員研修会等の開催 (4)一般児童の受け入れ (5)丸山児童センター定員増による、児童厚生員の増員 (6)AEDバッテリー交換				児童館・センター数 登録児童数 児童支援員の数			7ヵ所 302人 20人			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		46,818	48,556	47,757	49,184	(県)放課後子どもプラン推進事業補助金 24,440千円(国1/3、県1/3)、(そ)太陽光発電 収入 188千円					
国庫支出金											
県支出金				24,440							
起債											
その他		193	150	188	150						
一般財源		46,625	48,406	23,129	49,034						
人件費計(千円)②		1,144		1,144							
正規職員所要時間		320		320							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		47,962	48,556	48,901	49,184						
事業内容・目標達成状況の振り返り	子ども未来館閉館分として丸山児童センターを50人→70人定員としたが、27年度に70人超の利用希望が予測され、丸山児童センター第2(丸山児童センターの分室)の開設準備を行った。										
改革改善の考え方	①問題点	児童クラブとあわせても、低学年の利用を受け入れるところではいっぱいとなる児童館・センターがある。									
	②改革提案	児童クラブと児童館・センターの違いを少なくしていくように、児童クラブの運営・設備を向上させていく必要がある。地区の運営委員会と協議し利用時間延長に取り組んでいく。									